

2023年11月1日(水)第一水曜祈祷会

詩篇26篇1～12節

『誠実に歩む』

【詩篇26篇の概説】 *何か重大な危機が国民全体を襲っていた。

- ①ダビデはそのような危機の中で、正しい者の代表として、具体的な神の助けを願っている。
- ②9節の祈りは正しい者と悪者とが区別なしに取り去られる心配を表現している。
- ③11節は神が正しい者を特別に憐み、贖い出して(助け出して)くださるようにと願っている。

【観察と黙想】

1. 「主のさばきを求める祈り」(1～3節) *「弁護してください」とは、「さばく」とも訳される言葉。

①ダビデは自分が誠実に歩んでいることを、どうして主に訴えているのですか。

→

②ダビデの「私を調べ」「試みて」「精錬してください」という言葉から、何がわかりますか。

→

③ダビデはどのようにして主の御前に誠実に歩み続けることができたのですか。

→

2. 「自己弁明とその根拠」(4～8節) *主との交わりこそが喜びであることを表明している。

①ダビデは具体的にどのような信仰生活を心がけていましたか(否定的な面)。

→

②ダビデは具体的にどのような信仰生活を心がけましたか(肯定的な面)。

→

③ダビデは何を愛していると告白していますか。

→

3. 「主の憐れみを求める祈り」(9～12節) *「平らな所」とは「確かな所」とも訳せる言葉。

①ダビデは具体的にどのようなことを祈っていますか(否定的な面)。

→

②ダビデは具体的にどのようなことを祈っていますか(肯定的な面)。

→

③ダビデは最後にどんな告白をしていますか。

→

【適用と分かち合い】

- ①自分は間違っていないのに非難された時、あなたならどうしますか。
- ②私たち信仰者の特権はどのようなものがありますか。
- ③私たち信仰者が「誠実に歩む」にはどうすればいいですか。